

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] メサドンから他オピオイドへの切り替えにおける換算比率の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 薬剤部 宮城明実

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間：2026年2月2日～2026年9月30日

目的：2013年3月より本邦で臨床使用が開始されたメサドン錠は、他の強オピオイド鎮痛薬に耐性・抵抗性の難治性のがん疼痛に対する有効性が期待できるオピオイド鎮痛薬である。メサドン錠から他のオピオイド鎮痛薬への切り替えに関しては換算量の幅が広すぎるため、明確な変換比率について「メサペイン® 錠適正使用ガイド」に記載されていない。病状の進行により内服が難しくなった場合、換算比率が存在しないことで他のオピオイドへの切り替えに難渋することがある。

当院におけるメサドン中止前後における鎮痛薬用量を調査し、メサドンから他剤への換算比率について検討する。

方法：カルテからの情報収集をもとに実施する後方視的な観察研究

■ 対象となる患者さん

2013年4月～2025年12月にメサドンを投与され、他のオピオイドに変更した患者

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：研究対象者について、以下の臨床情報を診療録から取得する。

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、BMI、癌腫、転移、Performance Status、JCS または RASS）
- ② 血液所見（血中総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、LD、血清クレアチニン、eGFR、BUN、Na、K、Ca、Mg、P、Cl、赤血球、血小板、好中球、Hb、CRP）
- ③ 併用オピオイドと投与量  
中止前日：メサドン投与量、他オピオイド量、レスキュー回数と投与量  
中止7日後：オピオイド投与量、レスキュー回数と投与量
- ④ 死亡日
- ⑤ 鎮静及び神経障害性疼痛に関する他薬剤（ミダゾラム、コントミン、リドカイン、ケ

タラール、硬膜外・くも膜下投与薬剤)の有無と投与量

- ⑥ 痛みの部位、種類 (体性痛、内臓痛、神経障害性疼痛)
- ⑦ メサドン投与理由、中止理由等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院  
薬剤部 宮城明実  
電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971